

「たずねびと」本時の目標：綾の気持ちの変化を読み取り、作品から感じたことをまとめることができる。

④ 「綾」の心情の変化を読み取り、作品から感じたことをまとめよう。

「綾」は、どんな気持ちで「静かに流れる川、夕日を受けて赤く光る水」を見ていたのだろう？

川から 150 静かに流れる⇒平和・きれい 150 最初に見た川とはちがう 153 特別な川となった 148 何もない一日が終わっていく

広島での出会い

159 一人ひとりが懸命に生きていたこと
140 おばあちゃんの言葉を思い出している
143 アヤや亡くなった人たちには、夢や希望をもっていた
145 自分は何も知らなかった
144 (知らないことが恥ずかしい)
162 広島に来てよかった

未来のために

150 これからも静かに流れる川であり続けられるように
162 忘れないようにしたい
(戦争で亡くなった人、懸命に生きてきた人たち)
159 世界中の人が二度とこんな思いをしないように
161 命を大事に生きていきたい
147 はずかしくないように生きていきたい
159 自分も精一杯生きていかないといけない

戦争のおそろしさ

おそろしい川の時があった
一瞬にして、たくさんの人の命が奪われた
この川からは想像もできない
迎えにきてもらえなかった人、忘れられた人もいるのだろう

小
金
色
の
深
い
学
び

児童の質問

- ・昼過ぎに見た「きれいな川はきれいな川でしかなかった」にはどう意味がこめられているのか？⇒あの時は気がつかなかった。特別な川になった
- ・何を(どんなことを)わすれないようにしたい？
- ・作者は何を伝えたかったのか？戦争はおそろしいということ？

- ◎広島に来てよかったと思えたのはなぜ？
- ◎何が恥ずかしかったのか？
 - ・夢や希望を叶えられなかった人がいるのに…
 - ・考えたことなかった⇒知らなかった
- ◎わたしの心にうかびあがってきたものって？

ふり
返
り

懸命に生き、亡くなった人たちのことを思い、自分たちの生き方につなげて考えることができる。

B：話し合いを通して、作品から感じたこと(綾の心情の変化・戦争や平和)を表現できている。

A：話し合いを通して、作品から感じたことを、自分の生き方に結び付けて、考えを表現できている。